

関係づくりのポイント



- ・教育支援センターなどと、今の子ども様子や今後の支援等について情報共有を行い、それぞれができる支援や役割等を確認しながら協力して支援を進めましょう。
- ・教育支援センターなどで子どもに会えたときは、興味があることについて話をしたり一緒に活動をしたりするなど、子どもが安心感を得られるような雰囲気づくりを心がけましょう。保護者と接するときも、「一緒に考えていきましょう」という共感的な姿勢で関わりましょう。

( )年( )組 ( )番 名前( ) 記入日

	学級担任	学年職員等 (学年主任、副担任、教科担任、部活動顧問など)	関係職員 (教育相談担当、生徒指導担当、特別支援教育担当 養護教諭、相談員、SC、SSWなど)	管理職
休業前	家庭訪問を行い、休業中の過ごし方や今後の方針について、保護者と共通理解を図る			学校の不登校支援の方針を確認する
	【学校以外の施設との連携】 必要に応じて、子どもが参加している学校以外の施設に出向くなどして、施設での子どもの様子を確認する 休業中の取組について、学校以外の施設と相談する			
休業中	子どもや保護者と話す機会を設け、休業中の様子を把握する	学級担任や学年職員等と情報共有する		支援の役割がうまく機能しているかを確認する
	学級担任が子どもや保護者と話せない場合は、必要に応じて電話連絡や家庭訪問を行う			学級担任や関係職員に過度な負担がないかを確認する
	【学校以外の施設との連携】 休業後の支援や今後の方針について確認する			
【ケース会議の開催】 ・子どもの今の状況について情報共有する ・本人と保護者に対する支援策と支援者の決定をする				
休業後	【学校以外の施設との連携】 必要に応じて、子どもが参加している学校以外の施設に出向くなどして、施設での子どもの様子を確認する これからの支援について確認する			支援の進捗状況及び今後の支援について確認する